

11.9 自衛隊 「中央観閲式」を粉碎しよう

戦争突撃の号令・煽動を許すな!

9.2～11月下旬 陸自全部隊参加の「陸上自衛隊演習」粉碎!
沖縄—琉球弧の軍事要塞化—戦場化阻止!

■朝霞訓練場で開催の中央観閲式を粉碎しよう

本日、陸上自衛隊朝霞駐屯地（埼玉県朝霞市、新座市）において、陸上自衛隊による「中央観閲式」が行われ、首相石破が自衛隊部隊を観閲し戦争突撃を号令しようとしている。中央観閲式を粉碎しよう。

防衛省・自衛隊は、1954年の防衛庁・自衛隊設置以来、11月1日を記念日とし、その前後に陸自の観閲式を毎年開催してきた。1996年以降は、陸上自衛隊の中央観閲式、海上自衛隊の観艦式、航空自衛隊の航空観閲式を、毎年持ち回りで開催している。

今回、陸自は開催目的を「自衛隊の最高指揮官である内閣総理大臣（観閲官）の観閲を受けることにより、隊員の使命の自覚及び士気の高揚を図るとともに、防衛力の主力を展示し、自衛隊に対する国民の理解と信頼を深める」こととしている。

観閲式は朝霞駐屯地に司令部を置く陸上総隊（防衛大臣直轄の部隊）が執行し、陸・海・空の自衛隊も一堂に介する。第1空挺団の空挺降下と支援する航空自衛隊が航空機飛行で参加するほか、車両、徒歩部隊の行進、音楽隊の演奏が披露される。

会場には装備品＝武器・兵器が地上展示され、陸・海・空自衛隊の航空機の展示を含め、ミサイル・小銃など、さまざまな展示が実施される。

この観閲式は、文字通り、陸自をはじめとした自衛隊が戦争態勢形成を誇示し、日帝・石破連合政府が対中国・朝鮮反革命戦争突撃を号令し煽動するものにほかならない。日帝政府—自衛隊による戦争突撃を粉碎する闘いとして、すべての労働者人民の怒りを結集し粉碎しよう。

■日米共同統合演習「キーン・ソード」、「陸上自衛隊演習」と連動した戦争突撃

今現在、陸上自衛隊の全部隊から約10万人の隊員（陸自隊員の約3分の2に当たる）が参加した「陸上自衛隊演習（陸演）」が行われている（9月

2日から11月下旬まで）。この「陸演」は、2021年以来3年ぶりの実動演習であり、陸上幕僚監部及び陸上総隊以下の部隊が全国規模で作戦準備

自衛隊「中央観閲式」粉碎! 緊急行動

連絡先：東京都杉並区下高井戸1-34-9 (TEL) 03-3329-0165

段階から作戦展開までを一連の行動として繰り返し練習し習熟するための訓練とされている。そして、これに参加している一部の部隊は、機動展開後に日米共同統合演習「キーンソード25」(10.23～11.1)に参加している。「キーン・ソード」は、日米帝国主義による「台湾有事」煽動・「朝鮮民主主義人民共和国＝脅威」煽動をもつての対中国・朝鮮反革命戦争のための実戦訓練だ。沖縄―琉球弧を最前線基地とし戦場化する想定で、米海兵隊による「遠征前方基地作戦(EABO)」と米陸軍の高機動ロケット砲システム(HAIMAES)を使った機動作戦を一体で展開するための訓練で、自衛隊もその補完部隊として前面に出て戦おうとするものだ。訓練では、演習場での実弾による砲撃演習や

民間空港・港湾の使用も含めた兵員・兵器―物資の輸送が行われている。沖縄―琉球弧では、米軍の(HIMARS)を初めて石垣島に持ち込んで訓練し、公道を軍隊車両が我が物顔で使用した。この演習の中で、10月27日には与那国島で陸自のオスプレイが事故を起こした。労働者人民は「戦場のようだ」「新たな沖縄戦を許さない」という危機感と怒りをもって、体を張って抗議し闘っている。

中国・朝鮮人民―アジア人民と連帯し、日帝の排外主義煽動をもつての戦争突撃を粉碎しよう。沖縄―琉球弧の労働者人民の闘いと連帯し、日帝(ヤマト)足下から、沖縄―琉球弧の軍事要塞化―戦場化阻止、日米帝国主義軍隊解体、すべての基地解体・撤去の闘いを強化しよう。

■反戦闘争と三里塚南台決戦で、戦争―改憲突撃に延命を託す石破連合政府を打倒しよう

石破自公連合政府は、総選挙での大敗を居直り、国民民主党などを取り込みつつ、戦争―改憲によって政治支配の危機を突破しようとしている。米欧帝と一体になってウクライナ戦争への実質参戦を継続・拡大し、イスラエル政府・軍によるパレスチナ人民へのジェノサイド(大虐殺)に対して、帝国主義としての植民地主義―人種差別主義による抑圧・虐殺をむき出しにしながら、支持し加担している。そして、自らの帝国主義国としてのアジア・世界における支配力の後退を食い止めようと、「力による現状変更を許さない」などとして、中国・朝鮮民主主義人民共和国に対する戦争的包囲と軍事挑発を強化し、対中国・朝鮮反革命戦争へと突撃している。石破は「核共有(シェア)」「(米帝の)核持ち込み」を主張し、核武装―核戦争を推進しようとしている。

戦争は、各国の支配階級が国内における階級支配―政治支配の危機を対外的戦争に転化し、「国益」「国防」の名の下に労働者人民同士を殺し合わせるものだ。日帝は戦争突撃と一体に、天皇(制)を頂点とした国家の下へと労働者人民を反革命的に

統合しようとしている。自衛隊の明記と緊急事態条項の創設を軸とした改憲攻撃や、反戦闘争・労働争議・反核反原発闘争・学生運動などすべての階級闘争・革命闘争を弾圧・鎮圧する攻撃を激化させている。長年にわたる低賃金の強制―強搾取、軍事予算倍増・大軍拡と他方での「社会保障」費用の大幅削減によって、インフレ下での労働者人民の生活破壊―虐殺攻撃を激化させている。

全世界労働者人民と連帯し、反戦闘争の爆発をかちとろう。他国労働者人民を虐殺する戦争を拒否し粉碎しよう。改憲攻撃を粉碎しよう。首切り・合理化と対決し大幅賃上げを勝ち取るストライキ・実力争議の前進を切り開こう。三里塚の市東さんの南台農地の強奪＝戦時徴発を実力阻止し、戦争のための空港拡張を阻止しよう。国家権力による戦時弾圧、でっち上げ弾圧―虐殺攻撃を粉碎しよう。実力闘争―武装闘争で闘おう。

いまこそ、戦争・核武装―改憲への突撃と生活破壊を強める石破連合政府を打倒しよう。